

柳田小学校 教育目標及び教育方針

1 教育目標

『健やかで挑戦し続ける子の育成』

2 めざす児童像

◇健やかな子=元気 ◇挑戦する子=勇氣 ◇やり続ける子=根気

3 めざす学校像

- ◇児童一人一人が心身共に健やかで、個性を発揮することのできる学校
- ◇保護者や地域住民が安心して通わせたいと思う学校
- ◇児童や保護者、教職員が愛着と誇りをもてる学校

4 学校経営の基本方針

- (1) 創意工夫ある授業を通して、自ら学び、考え、伝え合う児童を育成する。
- (2) 自他の存在を認め合い、個々の自己有用感を高めることで、心豊かな児童を育成する。
- (3) 健康や体力の増進に取り組み、元気でたくましい児童を育成する。
- (4) 児童理解を深め、一人一人の自己実現を支援する個に応じた教育活動を行う。
- (5) 地域のよさを生かし、地域と連携した教育活動を展開する。
- (6) 一人一人の教職員が個性を生かし、教育目標の具現化に向かって協働して学校教育を推進する。

5 今年度の学校経営の基本方針の重点とその具体化

元気・勇氣・根気で「わくわくドキドキ」な柳田小学校

(1) 学力の向上

【創意工夫ある授業づくり】

- ・教師自身が児童と共に学ぶことの楽しさを味わえる授業を大切に、より良い授業を追求する。
- ・校内研修の充実を図ることで、教師一人一人が授業力を向上させる。

【授業を支える学習基盤の充実】

- ・学習規律の徹底、話し方・聞き方・つなぐワードの指導を共通実践し学習基盤を確立する。
- ・常に学習ツールとしてタブレット端末を効果的に活用し、情報活用能力の向上を図る。
- ・読書指導、名文暗唱等を通して、児童の語彙を増やし豊かな表現ができるようにする。

(2) 豊かな心の育成

- ① 教育活動全般を通して必ず一人一人に活躍の場を設け、自己有用感を実感させる。
- ② 地域の人や自然、伝統行事を学ぶ機会を設け、その良さや素晴らしさに触れて「感動」を味わうことで、心を豊かにし、地域に誇りと愛着がもてるようにする。

(3) 生活習慣・体力の向上

- ① 「早寝・早起き・朝ご飯」、適切なメディアコントロールなど自律した生活習慣の確立を図る。
- ② 「スポチャレいしかわ」「いしかわっ子駅伝」等に積極的に参加し、自身の目標に挑戦・努力し、やり遂げることで生まれる達成感を味わうことができるようにする。

(4) 安心安全な学校

- ① 注意深く児童を観察し、児童の変化に気づくことでいじめ・不登校の未然防止に努める。
- ② 環境整備と計画的な訓練を行い、危機管理マニュアルの定期的な確認と見直しをする。

(5) 家庭、地域との連携

- ① 地域の人材・素材を活用・教材化し、地域の教育力を生かした教育課程を編成し実践する。
- ② 学校公開、授業参観を定期的に行い、保護者・地域に開かれた学校づくりを行う。

(6) 働き方改革と組織力の向上

- ① 学校運営への参画意識を高揚し、前例踏襲することなく、協働する体制づくりをする。
- ③ YSS(若プロ研修)を活性化し、若手もベテランも人間力と同時に学校力を高める。

経営理念 元気・勇気・根気で「わくわくドキドキ」な柳田小学校

今日的な
教育課題等

石川県教育方針
能登町教育方針
関係法令等

めざす学校像

- ◇児童一人一人が心身共に健やかで、個性を発揮することのできる学校
- ◇保護者や地域住民が安心して通わせたいと思う学校
- ◇児童や保護者、教職員が愛着と誇りをもてる学校

児童の実態
地域の特色、特性
保護者、地域住民の
願い

教育目標 『健やかで挑戦し続ける子の育成』

生活習慣・
体力の向上

- ① 「早寝・早起き・朝ご飯」、適切なメディアコントロールなど自律した生活習慣の確立を図る。
- ② 「スポチャレいしかわ」「いしかわっ子駅伝」等に積極的に参加し、自身の目標に挑戦・努力し、やり遂げることで生まれる達成感を味わうことができるようにする。

健やかな子(元気)

学力の向上

- ① 教師自身が児童と共に学ぶことの楽しさを味わえる授業を大切にし、より良い授業を追求する。
- ② 校内研修の充実を図ることで、教師一人一人が授業力を向上させる。

挑戦する子(勇気)

豊かな心の育成

- ① 教育活動全般を通して必ず一人一人に活躍の場を設け、自己有用感を実感させる。
- ② 地域の人や自然、伝統行事を学ぶ機会を設け、その良さや素晴らしさに触れて「感動」を味わうことで、心を豊かにし、地域に誇りと愛着がもてるようにする。

やり続ける子(根気)

安心安全な学校

- ① 注意深く児童を観察し、児童の変化に気づくことでいじめ・不登校の未然防止に努める。
- ② 環境整備と計画的な訓練を行い、危機管理マニュアルの定期的な確認と見直しをする。

家庭、地域との連携

- ① 地域の人材・素材を活用・教材化し、地域の教育力を生かした教育課程を編成し実践する。
- ② 学校公開、授業参観を定期的に行い、保護者・地域に開かれた学校づくりを行う。

働き方改革と組織力の向上

- ① 学校運営への参画意識を高揚し、前例踏襲することなく、協働する体制づくりをする。
- ② YSS(若プロ研修)を活性化し、若手もベテランも人間力と同時に学校力を高める。